



第 36 号

編集発行所
〒990-2492
山形市鉄砲町一丁目15-64

山形県立山形西高等学校
嚶鳴同窓会
電話 023-641-3504



伝統と創造への架け橋に

会長 武田 美津子 (昭和39年卒)

同窓会会長2年目を迎え、今年も入学式に参列しました。西高生の凛とした姿に感銘を覚えました。

緊張している新入生を迎える在校生の顔は知性に溢れており、新たな後輩となる一年生を温かく見守る眼差しと私達がリードしてあげるといふ顔がありました。この生徒達が将来の同窓会を支えてくれると思うと、頼もしくさえ思え嬉しさが込み上げてきました。

昨年来、在校生のことや同窓生の動向について余りにも知らなかったことに気付きました。スクラップブックを作っていますが、切り抜いた沢山の記事を読み返してみると「澁刺とした西高生の姿」がひしひしと伝わってきます。その中で、県勢過去最高成績の見出しを飾った『登山部インターハイ3位』の記事は、懐かしい思い出を甦らせてくれました。

昭和30年代の西高は『山岳部』が活躍していました。同期生の米屋(佐藤)静江さんが3年の年に、2年の米倉京子さんと二人で山口国体チームに選ばれています。当時女子が選ばれることは、山形県はもとより全国でも初めてのことでした。

また、同窓会員の皆様が各分野で活躍している記事もいくつかあり、優れた人材を輩出している同窓会であることを実感しております。



しと伝わってきます。その中で、県勢過去最高成績の見出しを飾った『登山部インターハイ3位』の記事は、懐かしい思い出を甦らせてくれました。

今年度は、特に若い世代の同窓会員の想いがより一層反映される組織のあり方を模索する年にしていきたいと考え、三役並びに評議員の皆様と共に取り組んで参りたいと思っております。同窓会員の皆様におかれましては、評議員・クラス幹事の方を通じて、どうぞ忌憚の無いご意見をお寄せいただきたいと思います。

これからも同窓会の活発な組織作りに邁進して参りたいと思しますので、よろしくお願ひ致します。



いのちと笑顔と知性が輝く教育をめざして

校長 神保 潔

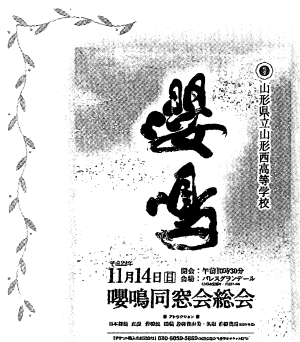
嚶鳴同窓会の皆様におかれましては、ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

本校は親睦友愛と切磋琢磨の心を象徴する「嚶鳴精神」の伝統のもと、知徳体の調和の取れた人材の育成を通して国家及び地域社会に有為な人材を送り続けてまいりました。特に世界同時不況に見られる世界各国の協調対応が重要性を増す中で、山形の歴史と文化に理解と愛着を持つとともに、グローバルな視点を持つ優秀な人材の育成に努めております。

本校教育の基本は、生徒の可能性を限りなく引き出す授業の充実にあります。そのために教員は絶えず研修と修養に励み、質の高い授業の実践に努めております。昨年度の大学進学実績は、国公立大学合格率が受験者の約70%、京都大学、お茶の水大学、東北大学等の難関大学合格率が約10%と目標とする数値をほぼ達成いたしました。また、部活動においても登山部、テニス部、なぎなた部、美術部、放送部、弁論部が全国大会に出場し、登山部がインターハイ3位に入賞したのをはじめ、選抜大会を含め東北大会等の上位大会への出場者が約330名に及ぶなど、その活躍ぶりには県内関係者にとつて驚異の結果でありました。今年度も文武両面で一層の充実を目指して努力しております。

また、今年度の校友会の方針に、ボランティアやエゴ活動の一層の推進が盛り込まれるなど、社会の一員として主体的に活動しようとする意欲にもあふれ、本校生の質の高さを示しております。

創立112年を迎えた本校の歴史と伝統を未来に確かに継承するために、県内外により一層信頼される学校づくりを努めてまいりますので、嚶鳴同窓会の皆様のご指導・ご支援をお願い申し上げます。



平成22年度 総会のお知らせ

大勢の方のご参加をお待ちしています。

- とき 11月14日(日) 午前10時30分開会
- ところ パレスグランデール (山形市荒瀬町一丁目17-40)
- 会費 5,000円
- アトラクション 日本舞踊 直派 若柳流 師範 若柳貴由美 名取 若柳 貴彦
- チケット購入のお問合せ TEL 080-6059-5869 (同窓会総会当番学年/チケット担当)



嚶鳴の絆は永遠に

平成21年度 嚶鳴同窓会総会

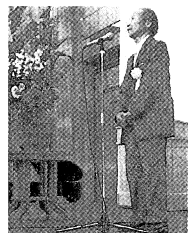
嚶鳴の輪

嚶鳴同窓会東京支部

http://www.ounmei.jp

かぐわしき集い、

平成21年11月8日
(日)、パレスグラン
デールに於いて嚶鳴
同窓会総会が開催さ
れました。当日は、



高橋勇先生

爽やかに晴れあがり、
まさに嚶鳴の呼名に
ふさわしい朝を迎え、
総勢600名もの皆
様にご出席いただき
ました。

総会は武田新会長
様、黒田校長先生の
ご挨拶で始まり、議
事は佐々木新副会長様の
議長の下、厳正にかつス
ムーズに進められました。
祝賀式典に移り、退任
された前会長佐藤様と前
副会長松浦様、菅野様に
感謝状と花束が贈呈され
ました。創立110周年
記念事業を遂行なされた



今年度、祝賀をお受けにな
られた方は、米寿7名・喜寿
45名の皆様でした。代表して、
米寿の元同窓会会長、相澤様
は、英語の授業等楽しかった
第一高女時代の思い出をお話
して下さいました。喜寿の皆様
は、戦時下の第一高女を知

会長・副会長としての感慨を
拝察し、多大なるご尽力に感
謝の念でいっぱいでした。ご
来賓を代表して、恩師の高橋
勇先生からは、西高の歴史と
歩みを基に嚶鳴への想いを
挨拶いただきました。ユーモ
アを交え飄飄と話されるお姿
に一同思わず高校時代に戻っ
てしまい、「勇ちゃん」と親し
みの声が上がりました。東京
支部長の田中様からは次世代
に繋ぐ活発な支部総会の様子
をご報告いただき、東北初の
女性県知事に就任された昭和
45年卒の吉村様からは、嚶鳴
の絆の強さと御自身のパリ
シーを織り交せて御礼のご挨拶
をいただきました。

最後の学年としての思いと、
戦後は校舎再建と移転・めま
ぐるしく変遷する学制改革の
中で学校生活を送られたこと
をお話し下さいました。寿の
皆様は敬意を表したいと、今
回、お祝いのお品贈呈の折、
司会者からお名前をご披露さ
せていただきました。嚶鳴精
神の誇りと感慨を胸に美しく
年を重ねられた大先輩のお姿
に、見習うことが多いと感慨
を深く致しました。

は歓談が弾んでおりました。
総会の最後を飾り、嚶鳴女
声合唱団を中心に叙情歌と新
旧校歌の斉唱となりました。
ご出席下さった皆様と共に
歌っていただきました。合唱団
の皆様には私服でご登場願
いしました。恩師の先生方や元合
唱団の方々も一緒に登壇し、
心一つに全員で歌い、感動
の中で閉会を迎えました。

アトラクションは、当番学
年の向井・五十嵐が活躍して
いる中川ミチコ教室によるフ
ラダンスをお楽しみいただき
ました。美しく優雅なダンス
は日頃の雑事を忘れさせ、南
国に誘われるひとときでした。
主宰の中川様(昭和36年卒)
は、西高の歴史ある創作ダン
スを学ばれたくて入学された
方。最後の曲で、「徳子先生、

見ていただいていますか」と
上を仰いでおっしゃった時は、
故斎藤徳先生にお教えを受け
た誰しもが胸を熱くしたので
はないでしょうか。

多くの皆様から「とても和
やかで素敵な総会でした」と
お言葉をいただきました。こ
れも、皆様のご支援ご協力の
賜と心より御礼申し上げます。
(昭和46年卒 青木 智子)

尾原嚶鳴後援会会長様の乾
杯のご発声で祝宴が始まり、
母校の歩みのDVD上映と美
酒や美味しいお料理に、会場



新卒生も参加して広がる嚶鳴の輪

次世代へ受け継ぐ

6月13日(日)、ホ
テルオークラ東京・
平安の間において、
平成22年嚶鳴同窓会
東京支部総会が開催
されました。

梅雨空の心配をよ
そに、当日は晴天の
朝を迎えることが出
来ました。

今年度は西高の新卒
生22名の参加者があ
り、総会の盛り上が
りに華を添えてくれ
ました。新卒生に向けて東京
支部の存在をアピールしてき
た活動が、今年は大きく実を
結び、会員一同嬉しく思っ
ている次第です。

来賓祝辞では神保潔校長先
生、武田美津子同窓会会長、
恩師の山口頼子先生にご挨拶
をいただきました。山口先生
は、在職時代を振り返りなが
ら「命の大切さ」についてお
話し下さいました。心にしみ
るお話に涙する会員の姿が、
多く見受けられました。

第二部懇親会は、秋葉麻子
様(昭和13年卒)の乾杯のご
挨拶で始まり、美味しいお食
事と天童ワインに舌鼓を打ち
ながら、テーブルごとに歓談

に花が咲
いたよう
です。
今年の
エンター
テインメ
ントは、
小倉董子
様(昭和26年卒)による講演
「人と自然とちよつと冒険」で
した。沢山の冒険エピソード
や、豊富な人生経験の中から
得た教訓の、「無知・無理・過
信・焦りはダメ! 予定は未
定・臨機応変!」を、笑顔で
力強くお話し下さいました。
頼もしき溢れるご様子からは、
さらなるご活躍が期待出来そ
うです。

続いて東京嚶鳴女声合唱団
の美しい歌声が披露され、東
京でも嚶鳴の歌声は健在であ
ることに、胸を熱くした会員
も多かったことでしょう。
294名の出席者は、18歳
から92歳までと年齢層も厚く、
西高の歴史を感じさせます。
準備学年を担当してみても、先
輩方の同窓会に対する熱い思
いを知る機会を得ました。仲
間が集うこの場を大切にしてい
て行きたいと思えます。
(昭和58年卒 矢島 悦子)



平成22年 嚶鳴

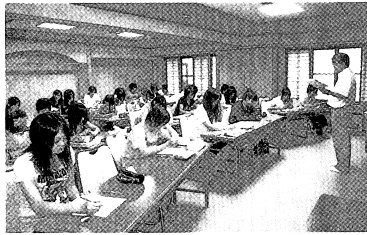


いま、西高生は...

嚶鳴パワー全開で がんばっています！

夏期休暇中
に蔵王で行わ
れている「学
習合宿」。毎
年約200名の
生徒がこの行
事に参加し、
集中と持続を
繰り返しなが
ら1日10時間
以上の学習に
挑戦します。
昭和62年に
始まったこの
事業は、『山形西高百年
史』をひもとくと「とき
の3年保護者会の全面的
な後援を受けて、学年担
任団及び教科担任の気概
と情熱がうみだした」と
あります。この基本概念
は今も変わらず受け継が
れており、保護者は4泊
ないし5泊の合宿費用を
用意する経済的負担や子
どもに対する期待感でこ
の合宿を支えています。
教員は生徒たちの夢を叶
えさせたい、合格して喜
ぶ生徒の顔が見たい、と
いう一心で講習や質問に
あたるとともに、普段と

さり、生徒は久しぶりの
家族とアイスに大喜びし
ます。そして毎日10時間
以上の長時間学習をし自
分の限界を伸ばした生徒
たちは、達成感を持って
この合宿を終え、家族の
元に帰ります。
自分のペースができて
いる、予備校の講習会を
受講する、インターハイ
出場選手、など様々な理
由で学習合宿に参加しな
い生徒もいます。その生
徒には登校学習を勧めた
り生活リズムのアドバイ
スをしたり、生徒を思う
教員の気持ちは全員に向
けられています。
近年の就職希望者はと
ても少なく、ほぼ全員が
進学を希望しており、大
きな夢と高い希望を持
その実現に向けてこの3
年間を大切に過ごしてい
ます。校内合唱コンク
ール・校内総体・嚶鳴祭の
三大行事や日々の生活で
培った嚶鳴精神とともに
確かな学力を身につけて
母校を巣立ち、地域社会
に有用な人材に育ってほ
しいと願っています。
(校内理事・昭和62年卒
吉田 朋世)



蔵王での「学習合宿」

違う集中学習を送る中
生徒の心のケアをしたり
集団生活のきまりを守ら
せたりと、生活指導にも
心を砕いています。そし
て主役である生徒は、初
めこそ不安を口にすると
ものの、蔵王に到着して
キストを開けばその顔は
真剣そのもの。挑むよう
に教師を見つめ「学ぶ集
団」に変貌する姿は見事
です。「みんな勉強してい
るから集中できる」「友達
が頑張っている姿を見る
と、自分もやらなきゃと
思う」「辛いのは自分だけ
じゃない」と言い、これ
までで最高の学習に励み
ます。合宿も半ばを過ぎ
た頃、保護者が差し入れ
を持って応援に来てくだ

平成21年度の活躍
県高校美術展賞・
総合文化祭受賞
(山形県最高賞)
2年 粒木まり恵
「10代の焦り」
(油絵・F100)



弁論大会 全国3位入賞

三重県で行われた第33回全国高等学校総合文化祭弁論大会において、大沼文香さんが「ユーンク
ロム・カンボジア」という題目で、見事3位入賞、優
秀賞を受賞しました。NPO法人「国境なき子ど
もたちの友情レポーター」に参加し、カンボジア
の子どもの悲惨な生活を目の当たりにした経
験から、「私達は同じ地球に住む仲間です」と世界
の貧困に喘ぐ子どもたちと一緒に生きていくこと
を訴えた内容です。この活躍により、「平成21年度
高校生国際文化交流事業」により、中国に派遣さ
れました。

登山部 インターハイ3位入賞

兵庫県水ノ山・鉢伏山・蘇武岳コースにて行わ
れた全国高校総合体育大会「近畿まほろば総体」
の登山大会で、登山部が3位入賞を果たしました。
県勢の3位入賞は19年ぶり、女子では22年ぶり
となる快挙、また本校登山部としても創部以来初
の3位入賞です。
登山部のインターハイ出場は、平成22年度で8
年連続15回目となります。年々、知識や技術、ノ
ウハウを蓄積してきましたが、ここ5年間はメダ
ルには一歩手が届きませんでした。昨年度はゴル
デンウィークの5連休を利用して兵庫で合宿を
行い、知識審査や歩行技術、体力訓練などに力を入
れ、失点を最小限にとどめる努力をしてきました。
選手4人のほか、現部員たちのバックアップや
先輩たちから脈々と受け継がれてきた伝統、そし
て応援してくださった皆様方の想いが結晶化した
3位入賞です。応援ありがとうございました。

なお、登山部では冬季間の体力
作りの一環として、山形市内を中
心に、街中や住宅の雪かきボラ
ンティア「雪のけスコッパーズ」
の活動を行っております。詳細
は学校HP、または登山部顧問・
皆川までお問い合わせください。



在校生の活躍 (平成22年7月現在)

県高校総合体育大会		
卓球部	団体 第3位	ダブルス 遠藤 幸奈・井上 怜奈 第2位 (インターハイ・東北大会出場)
		原田 夏美・逸見 枝里 ベスト8 (東北大会出場)
		遠藤 幸奈 ベスト12 (東北大会出場)
		逸見 枝里 原田 夏美 ベスト16 (東北大会出場)
ソフトテニス部	ダブルス 揚原 佳奈・小林 千夏 9位 (東北大会出場)	
陸上競技部	女子フィールド総合 5位	走幅跳 2位 青木 成美 (東北大会出場)
		走幅跳 3位 細谷 昌来 (東北大会出場)
		3000m 5位 五十嵐歩実 (東北大会出場)
登山部	最優秀 (インターハイ・東北大会出場)	8年連続15回目
バドミントン部	団体戦 ベスト8	個人戦 シングルス 三澤 優香 ベスト8
新体操部	団体 第2位 (東北大会出場)	
ソフトボール部	ベスト8	
なぎなた部	団体 第4位	個人試合 長谷川詩織 ベスト8
演技競技	長谷川詩織 木村 千夏 第2位 (インターハイ・東北大会出場)	
テニス部	団体戦 第1位 (インターハイ・東北大会出場)	8年ぶりの優勝
個人戦	シングルス 第1位 岩田 弘絵 (インターハイ・東北大会出場)	(県テニス界 史上初 個人3連覇)
	ダブルス ベスト8 大泉和佳子 高橋 愛奈	高橋 愛奈・三原 千晶
サッカー部	第3位	
水泳部	女子総合 3位	400mメドレーリレー 2位
		400mフリーリレー 2位
		50m自由形 2位 西村明香里
		100m自由形 2位 西村明香里
		800m自由形 2位 館石 夏
		400m自由形 3位 館石 夏
		100m背泳ぎ 4位 國井 美里
		200m背泳ぎ 4位 國井 美里
		200m自由形 5位 井幡 葉月
100mバタフライ	5位 松本いづみ	
200mバタフライ	5位 松本いづみ	
200mバタフライ	7位 浅野目悠紀	
400m個人メドレー	7位 黒須 聡瑛	
100mバタフライ	8位 浅野目悠紀	
(以上、14種目東北大会出場)		
第10回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会予選会		
	全国大会出場	菅原由美香 (2年)
		伊藤なつみ (2年)
第17回山形県民ふれあい書道展		
	3年 井上 亜紀 (山形県知事賞)	
	2年 石塚 絵里 (山形市教育委員会賞)	
	2年 松田 未来 (山形市長賞)	
山形県高等学校放送コンテスト		
【アナウンス部門】		
	4位: 香曾我部 早紀 (3年)	
	5位: 佐藤 春佳 (3年)	
	6位: 齋藤 詩織 (3年)	
【朗読部門】		
	2位: 升川 初美 (3年)	
	4位: 佐野 亜由美 (3年)	
【ラジオドキュメント部門】		
	1位: 「西高なでしこ開花秘話」	



この度お訪ねした先生のご自宅は、初夏の花々が咲き、きれいに手入れされた家庭菜園の畑が目に残る素敵なお宅でした。長岡先生を知る方は、おしやれでダンディなイメージを持つ方も多いと思いますが、お住まいからもセンスの良い暮らしが感じられました。

今は、悠々自適に過ごされていらっしゃる様子。当時の生徒にとつては妥協のない厳しい先生でしたが、今回お話を伺って感じたことは、生徒に厳しかったというより、ご自分に大変厳しい先生であったということです。

長岡先生の物事に対する姿勢や哲学のほとんどは、熱心なクリスチャンであった御父上の影響を強く受けていらつしやいます。社会人になつてからも事あるごとに様々な話をされ、その中で特に印象に残っているのが長井市の電子精密機器メーカーで経営指導された千葉工業大学教授の3つの教えだそうです。

- その教えとは、
- ① 工員を背中合わせに座らせること（集中させる）
- ② トイレに行く時間を決める（規律を守らせる）
- ③ 不良品を極力減らし、そうし

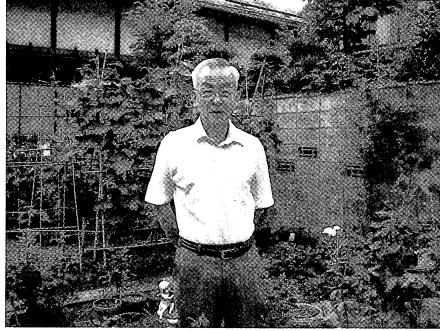
て出た利益は給与に反映させる（動機付け）

複雑なノウハウより、このたった3つのことを徹底することによって業績が大きく改善したという話から、『解決策は単純なことにある』ということを中心

田舎師を訪ねて

駆け抜けた3年間

長岡 信也 先生



に焼き付けられたそうです。

長岡先生は、山形西高に赴任して11年目に大きな決断をされます。これまでの慣例や伝統に囚われず、新しい発想で生徒を育てたい、と当時の校長先生へ談判し、自分のやり方で責任を

もつて3年間任せて欲しい、と申し入れました。校長先生は、「120%、自分の考えが正しいと思うのなら、好きにやりなさい」とおっしゃって下さったそうです。

そこで長岡先生は、一緒に学年を担当する先生方は進路指導にできるだけ経験の無い人を集め、次の3つの事を徹底するよう約束されたといいます。

- ① 答えは教えない↓自分の頭で最後まで考えさせる
- ② 予習をさせない↓代わりに復習は徹底的に行う
- ③ 宿題をできるだけ出さない

この3つの方法は、常に教育とは何かを考え挑戦されてきた長岡先生が辿り着いた、『単純な解決策』でした。

学年の他の先生方も、緊張感のあるこの凝縮した3年間で、「燃え尽きた学年だった」とおっしゃいます。

全国の子備校の問題集をダンボールで山積みになるほど集めて徹底的に研究したり、夜中まで論議したり、時にはいきなりボウリングに出かけてみたり…。長岡先生は、「皆を、私の波乱万丈な生活に付き合わせた」と楽しそうに振り返っていらつしやいました。

当時から始まった蔵王での夏期学習合宿と一日一題は、20年

たった今でも受け継がれていいます。そして、3年生の進学先は山形大学約50名↓100名、東北大学2、3名↓23名へと大きな成果として表れ、西高への評価も大いに高まることとなりました。

しかし、先生はおっしゃいます。「知識よりも大事なものは知恵と知性。それが、やがて生きる力“知力”となる」「女性は年齢とともに知性を磨いていかなないと」。

ここには書ききれないほどの貴重なお話を沢山伺いし、時間があつという間に過ぎていきました。

先生は、「二対一のときは誰にでも同じ目線で人として尊重し接する。先生方にも生徒にも」とおっしゃっておられました。丁寧に入れて下さった薫り高いコーヒーの味わいにも、それを感じることができました。

また、20年前と少しも変わらぬダンディズムを貫く姿勢に、大いに触れることができたひとときとなりました。

（訪問者・昭和63年卒

武田 靖子
小松 史江

道木並

昭和47年卒 奥山 潤子

少し前のバスの中の出来事です。おばあさんが3歳位の男の子とバスに乗って来られました。男の子はバスが大好きなようで、席に座ると、おばあさんと楽しそうに話をしていました。十日町辺りで、おばあさんが、

「次で降りるからね」

すると男の子は、

「イヤだ。もつと乗ってる。降りたくない」と、駄々をこね始めました。

「そんな事言わないで、次で降りようね」と、優しく男の子に言つても、

「イヤだ、イヤだ！」

の連発。皆が心配そうに見守る中、車内アナウンスが流れ、

「次は、本町です。ここで降りると、デパートもおもちゃ屋さんもありますよ」

男の子はその声を聞くと、

「おばあちゃん、ここで降りよ。僕、ボタン押す」

そしてニコニコ顔でおばあさんと手を繋ぎ、降車口へ。

「本当に有難うございました。助かりました」と、おばあさん。

「バス好き？ また乗ってね」

「うん好き！ おばあちゃん、早くデパート行こう」

バスの中は、皆のほほ笑みと温かい空気に包まれ、私も運転手さんにお礼を言いたい気持ちでした。

今でも、バスを見るとふと思ひ出し、心が温かくなる、そんな出来事です。



いつまでも輝いて...
卒業生からのお便り

紙芝居に夢中です！

昭和43年卒 折原 由美子



今年、還暦を迎えましたが、紙芝居を作り、子どもたちのところやグループホームで演じて楽しんでいます。

天職と思いこんでいた教員を14年で退職し、専業主婦となりました。しかし、家事も育児もままならず、家族に教

『向田邦子全集』を編集しました

昭和54年卒 中津留 佳代(旧姓・馬光沼)



大学卒業後、山形で高校教師を約1年、台湾で日本語教師を1年半、東京で編集プロダクション、文藝春秋の子会社・文春ネスコに10年間の勤務を経て、フリーの編集者となり

から感謝しています。

ある日、幼稚園で演じる退職当時、山形市立図書館の紙芝居講座を受講したのですが、元教師というプライドを捨てきれず、下手な絵を人目に晒し恥をかくのを恐れ投げ出したことがあったのです。

作り始めると、評が欲しくなり、全国自作視聴覚教材コンクールに応募するようになりました。入選はするのですが、賞はもらえません。あるとき、審査員の先生から声をかけられました。「折原さんの作品はいいんだけどなあ；他の人のはもっといいんだよなあ；」何が足りない...

そして昨年『あばっしやい！山形花笠まつり』で文部科学大臣賞を受賞しました。私の拙い紙芝居を見て下さる多くの方々のお陰と心支えてくれた家族のお陰と心ナリオ集でした。同じ山形生まれがご縁となつて、井上先生の担当となるという幸運にも恵まれました。

日々の仕事に追われていると、年月はたちまち過ぎてゆきます。フリーの編集者になつて10年目の昨年は向田邦子さんの生誕80年を記念して、文藝春秋で全集を、岩波書店でシナリオ集を編集しました。全集で爆笑問題の太田光さんから月報の連載原稿を頂戴できたこと、シナリオ集の編集集中に邦子さんの幻のデ

から感謝しています。

ある日、幼稚園で演じる退職当時、山形市立図書館の紙芝居講座を受講したのですが、元教師というプライドを捨てきれず、下手な絵を人目に晒し恥をかくのを恐れ投げ出したことがあったのです。

作り始めると、評が欲しくなり、全国自作視聴覚教材コンクールに応募するようになりました。入選はするのですが、賞はもらえません。あるとき、審査員の先生から声をかけられました。「折原さんの作品はいいんだけどなあ；他の人のはもっといいんだよなあ；」何が足りない...

女性の視点を活かした議員に

昭和57年卒 大内 理加

「大内さん、頑張っているわね。街の中でこんなありがたい言葉をかけられても、どんなか思い出せない。「ありがとうございます」とお礼を言いながら戸惑っている私に、「あなたの先輩よ。応援しているわよ！」ポンと肩をたたかれました。こんなことが当選してから、何度あったかわかりません。その度に、嚶鳴の絆の深さを感じております。直接お会いしたことのない先輩、後輩が嚶鳴という名のもとに見えるところまで心をつなげて下さったお陰で、今、こうして私は県議会議員として仕事をさせていただいております。

現在、山形県議会には3人の女性議員が在籍しています。女性議員の割合はまだまだ少ないのが現状です。もっと、多くの女性が議員として県民の声を代弁すべきだと考えていた矢先、昨年2月に嚶鳴の先輩である吉村美栄子知事



県議会予算特別委員会で質問

初心を忘れず、常に勉強することを忘れず、そして、嚶鳴の名に恥じぬようこれからも県民の皆様のために日々活動してまいりたいと思います。「政治が生活を変えてくれる」という実感できるような社会にしなければなりません。政治を目指す後輩が後に続いてくれることを期待しています。



私達の学年会

ときめきの三八会

昭和38年卒 齋藤 陽子

昭和38年卒業の私達学年の名称は「三八会」(さんばちかい)。

平成22年5月30日は、爽やかな五月晴れ。会場のホテルキャッスルの12階から、澄みきった空に月山、葉山の美しい雄姿が望まれる中、33名の参加により、「三八会」は開かれました。

はじめに、3年の間にお亡くなりになられた、恩師の川合俊一先生、吉田一恵先生、同窓生1名に対して黙祷を捧げました。

懇親会では、当番クラスの出し物「60代はまだまだ若い、たまには、ときめいて!!」と手にポンポンを持つての「ときめきのルンバ」の踊りに宴会は盛り上がり、また鎌田さんの「アベマリア」の熱唱に皆うっとり。和やかな雰囲気の中で次々スピーチが続きました。マラソンに何度も挑戦している方、大病を克服された方、茶道や編物を教えている方、今年ガンの手術をした方が皆に会いたいと参加された方、とそれぞれ自分の生活を

大切に、しっかりと歩んでおられる様子が伝わってきます。保護司の方は熱き思いを語り、社会を明るくする運動のピスケットを「今日の引出物です」と配って大爆笑。ふるさとの山を見ながらの校歌。輪になり腕を組んでの「今日の日はさようなら」。同じ学び舎で机を並べた顔、顔、笑顔の大会でしました。

最後に瀬野さんが、その場で作った句を披露。

まさにとその通りの楽しく賑やかな「三八会」は、3年後の再会を約して散会しました。



嚶鳴同窓会評議員

相澤 栄 顧問 昭和14 高女36	長岡 玲子 評議員 昭和36 西高7
中原えい子 顧問 昭和20 高女42	古瀬 孝子 評議員 昭和37 西高8
佐藤 伶子 顧問 昭和30 西高1	小松 節子 評議員 昭和38 西高9
神保 潔 学校長	菅野 ふみ 評議員 昭和40 西高11
武田美津子 会長 昭和39 西高10	渡辺三枝子 評議員 昭和42 西高13
佐々木智子 副会長 昭和41 西高12	鈴木よし子 評議員 昭和43 西高14
清野 和子 副会長 昭和44 西高15	佐藤 淳子 評議員 昭和45 西高16
笠井ひで子 東京支部長 昭和44 西高15	青木 智子 評議員 昭和46 西高17
佐藤 陽子 瀬江支部長 昭和34 西高5	奥山 潤子 評議員 昭和47 西高18
皆川 貞子 評議員 昭和26 南高1	たなかゆうこ 評議員 昭和51 西高22
菅野 節子 評議員 昭和28 南高3	富樫由美子 評議員 昭和57 西高28
松浦 英子 評議員 昭和31 西高2	武田 靖子 評議員 昭和63 西高34
片桐ユキ子 評議員 昭和32 西高3	小松 史江 評議員 昭和63 西高34
山田 勝子 評議員 昭和33 西高4	安藤 朋子 監事 昭和27 南高2
中村 郁 評議員 昭和34 西高5	平田 洋子 監事 昭和29 南高4
武田笑美子 評議員 昭和35 西高6	

Information

～お知らせ～

- 高山文夫先生(平成3年～6年)西高退職後、写真家として活動。「鳥海山の四季」など写真集2冊を出版、今年5月に文翔館で写真展を開催されました。
- 翠川けい(後藤桂子)さん(昭和41年卒)が小説「秋のラブソディ」(文学同人「ほんがら」の会)を出版されました。
- 新関さとみさんが「ビニール袋で手早くできる! 野菜のうまみが活きる漬け物」(PHP研究所)を出版されました。
- 脚本・古瀬孝子さん(昭和37年卒)、絵・長岡玲子さん(昭和36年卒)の紙芝居「きこののばけもの」が制作されました。



●平成23年度米寿・喜寿のお祝いについて

米寿…昭和16年高女 昭和18年女子師範一部・二部
喜寿…昭和28年山形南高等学校

以上の方が該当学年となります。



- 中沢(高橋)トシ子 昭46西高
- 鷺津(伊藤)五百子 昭41西高
- 佐藤(鈴木)千枝 昭25西高
- 高橋(柿本)サチ 昭48西高
- 有島(菊地)敦子 昭48西高
- 滝口(村田)明美 昭23西高
- 後藤(後藤)節子 昭42西高
- 大内(金子)洋子 昭16西高
- 鈴木(菅野)幸子 昭16西高
- 鈴木(鈴木)治子 昭16西高
- 佐藤(松浦)弘子 昭26西高
- 山崎(栗林)美枝子 昭14西高
- 西塔江(梨子) 昭17西高
- 向(今井)京子 昭35西高
- 加賀美(鈴木)照子 昭26西高
- 中川(長谷川)敏子 昭43西高
- 今田(アヤ) 昭8西高
- 加藤(桜井)ヨネ子 昭16西高
- 笹村(笹村)利子 昭28西高
- 鈴木(佐藤)淑子 昭31西高
- 小松(小松)和子 昭27西高
- 佐田(熊谷)明子 昭18西高
- 高橋(中村)敏子 昭18西高
- 耳浦(遠藤)睦子 昭56西高
- 須賀(池田)孝子 昭9西高
- 栗野(梅津)寿子 昭16西高
- 佐藤(椎野)ひとみ 昭16西高
- 大宮(青木)文子 昭16西高
- 坂元(佐藤)ヤエ 昭16西高
- 斎藤(高橋)厚子 昭47西高
- 竹田(和田)時子 昭16西高
- 松田(みどり) 昭16西高
- 西尾(城戸)キエ子 昭17西高
- 奥村(鈴木)千枝子 昭18西高
- 高橋(尾形)美子 昭19西高
- 小松(今野)琴子 昭20西高
- 斎藤(大原)多華子 昭27西高
- 斎藤(石原)つや子 昭20西高
- 田村(阿部)麗子 昭25西高
- 三好(慎子) 昭25西高
- 山下(宮田)純子 昭50西高
- 羽田(恭子) 昭33西高
- 今井(尾形)文子 昭33西高
- 谷(鳥尾)沼みほ 昭33西高
- 山内(永井)光子 昭33西高
- 鈴木(丸子)きよ 昭7西高
- 名木橋(三浦)まさ 昭3西高

お祈り申し上げます



平成21年度 主行事務報告

平成21年	4月23日	同窓会会計監査	本校嚶鳴会館事務室
	4月25日	寒河江支部総会	グランデール寒河江
	5月1日	第1回評議員会・旧三役送別会	パレスグランデール
	5月14日	嚶鳴三代会長副会長会	
	6月24日	校内合唱コンクール	山形県民会館
	6月28日	東京支部総会	ホテルオークラ東京
	8月18日	第2回評議員会・第1回クラス幹事会	本校図書館・本校101教室
	11月8日	平成21年度同窓会総会	パレスグランデール
	12月15日	次年度当番学年へ引継ぎ会	パレスグランデール
	平成22年	2月27日	同窓会入会式
3月1日		第56回卒業証書授与式	本校体育館
3月29日		三役引継ぎ会	本校嚶鳴会館事務室

平成21年度 維持会費納入状況 (平成22年6月18日現在・納入者氏名省略)

◎平成21年度分で平成21年4月1日～平成22年6月18日までに納入されたもの ※152クラス分 456,000円

高女	昭和23～25年		西高	昭和37年	1・2・3・5組	西高	昭和51年	4組
南高	昭和26年	1・3・4組		昭和38年	1～5組		昭和55年	1～6組
	昭和27年	1～4組		昭和39年	1～5組		昭和57年	1・2・5組
	昭和28年	1～4組		昭和41年	1～6組		昭和58年	1～6組
	昭和29年	1・5組		昭和42年	1・2・3・4・6組		昭和59年	1・4組
西高	昭和30年	1～4組		昭和43年	1～6組		昭和60年	1～6組
	昭和31年	1～4組		昭和44年	1～6組		昭和62年	1～7組
	昭和32年	1～4組		昭和45年	2・3・5・6組		昭和63年	1～7組
	昭和34年	1～4組		昭和46年	1～6組		平成元年	1～7組
	昭和35年	1～5組		昭和47年	1～6組		平成2年	1・3・4・5・7組
	昭和36年	1～5組		昭和48年	5・6組		平成3年	1～7組

◎平成21年度分で平成21年3月31日までに前納されたもの

南高	昭和29年	2・3・4組	西高	昭和49年	4・5組	西高	平成4～21年	全クラス
西高	昭和33年	1～4組		昭和50年	5・6組			
	昭和45年	1・4組		昭和58年	6組			

- 会報編集委員 (評議員)
- 長岡 玲子
- 小松 節子
- 奥山 潤子
- 富樫 由美子
- 小松 史江
- 伊藤 和恵
- 佐藤 孝子
- 青木 智子
- 古瀬 孝子
- たなか ゆうこ
- 武田 靖子
- 若藤 孝子

今号では、「西高のいま」をご紹介します。勉学に励む姿、スポーツや芸術文化に打ち込む情熱、在校生の皆さんの活躍に、ご自身の高校時代を重ね合わせた方も多かったのではないのでしょうか。この会報を通して、卒業後もつながる「嚶鳴の絆」を感じていただければ幸いです。

また、この同窓会報を創刊された元同窓会長の 大宮文子様 が今年1月、ご逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

お忙しい中、原稿をお寄せいただきありがとうございます。来年の紙面作りのため、活躍中の同窓生のご紹介をお願いいたします。では、皆様どうぞお元気で！

(昭和51年卒 たなか ゆうこ)

同窓会報へのお便りをお待ちしております

宛先 / 〒990-2492
山形市鉄砲町1-15-64 山形西高校内
嚶鳴同窓会報編集室「同窓生からのお便り」係

お願い / 卒業年度、住所、電話番号をご記入の上
お送りください。

問合せ / TEL 023(641)3504 FAX 023(641)3516
山形西高校内 同窓会報担当まで

学校ホームページ / <http://www.yamagatanishi-h.ed.jp>



平成21年度 嚶鳴同窓会基本金決算

1 収入の部

(単位：円)

1. 前年度繰越金	13,212,608
2. 総会ご芳志	485,000
3. 総会残金	16,143
4. バッチ立替分 (21年度分)	75,000
5. 定期預金利息	17,846
6. 普通預金利息	1,862
合計	13,808,459

(内、定期預金 7,400,000)

2 支出の部

(単位：円)

1. 22年度総会補助	100,525
2. 総会記念写真代・送料	97,965
3. 総会役員会経費	12,516
4. 米寿記念品代	110,250
5. 勤続10年表彰記念品	45,000
6. 三役送別会経費	161,060
合計	527,316

(1は振り込み手数料を含む。)

3 差引残高

13,808,459円 - 527,316円 = 13,281,143円

定期預金 7,400,000円

普通預金 5,881,143円

平成21年度 経常費決算

1 収入の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	増減(△)	摘要
入会費	672,000	672,000	0	3,000円×224人
会費	1,172,000	1,172,000	0	672,000円+500,000円
繰越金	292,882	292,882	0	20年度残金
雑収入	18	181	163	預金利子
計	2,136,900	2,137,063	163	

2 支出の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	残額	摘要
総会費	820,000	820,000	0	総会、各支部会
会議費	190,000	146,462	43,538	評議員会、クラス幹事会等
後援費	70,000	11,200	58,800	会員後援など
記念品費	75,000	75,000	0	新入会員の記念品費
印刷発行費	320,000	262,500	57,500	会報印刷、封筒印刷
事務費	8,000	2,562	5,438	事務用品他
通信費	120,000	67,880	52,120	連絡通信用葉書・切手
慶弔費	90,000	85,968	4,032	会員慶弔費その他
交通費	260,000	273,840	-13,840	三役交通費、東京支部総会
諸費	180,000	149,615	30,385	入会式経費、全国大会出場餞別等
予備費	3,900	0	3,900	
計	2,136,900	1,895,027	241,873	

3 差引残高

(総収入) 2,137,063円 - (総支出) 1,895,027円 = (残高) 242,036円

平成22年度 経常費予算

1 収入の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	摘要
入会費	708,000	672,000	36,000	3,000円×236人
会費	1,208,000	1,172,000	36,000	708,000円+500,000円
繰越金	242,036	292,882	△50,846	21年度残金
雑収入	64	18	46	預金利子
計	2,158,100	2,136,900	21,200	

2 支出の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	摘要
総会費	790,000	820,000	△30,000	総会、各支部会
会議費	190,000	190,000	0	評議員会、クラス幹事会等
後援費	70,000	70,000	0	会員後援など
記念品費	75,000	75,000	0	新入会員の記念品費
印刷発行費	320,000	320,000	0	会報印刷、その他印刷
事務費	8,000	8,000	0	事務用品
通信費	120,000	120,000	0	連絡通信用葉書・切手
慶弔費	90,000	90,000	0	会員慶弔費、その他
交通費	290,000	260,000	30,000	三役交通費、東京支部総会
諸費	180,000	180,000	0	入会式経費、全国大会出場餞別等
予備費	25,100	3,900	21,200	
計	2,158,100	2,136,900	21,200	